

日南町の気候を味方に高品質な野菜苗・花壇苗生産チャレンジプラン

事業実施主体名	足立 進也		住 所	日南町
プラン認定日※	平成22年12月22日	プラン期間	平成22年～平成24年	

1 プラン内容

(1) 概要

日南町で花壇苗農家として就農したが、近年花壇苗の単価低迷が続いていたため、徐々に地元へ供給するピーマン、ブロッコリー、キャベツ、トマトの野菜苗生産を増やしてきた。

そんな中、日南町の特産品のトマト苗を、地元農協から本格的に生産して欲しいと要望を受け、規模拡大に必要な施設機器を導入し、苗生産の拡大と品質向上による経営安定を図った。

(2) 取り組みポイント

- 地元特産品トマトの苗生産という責任ある新たな品目へチャレンジし、中山間地での苗物生産経営の改善を図った。
- 良質な苗生産のために暖房機・土入れ機での作業効率化、循環扇による病害の発生抑制を図った。また、暖房設備、土入れ機の導入により、春先からの野菜苗の栽培や花壇苗の作型が広がり、作業効率が向上した。さらに、循環扇の導入により、苗の品質が向上した。
- 良質苗供給による地元特産品トマトの生産安定に貢献している。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H22	暖房設備 土入れ機 循環扇	1,959	653	327
合 計		1,959	653	327

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H22)	現 状 (H23)
労働力(雇用)	2名(臨時雇用2名)	2名(臨時雇用2名)
経営内容・規模	ピーマン苗 48,506ポット トマト苗 1,000ポット ブロッコリー・キャベツ苗	ピーマン苗 45,834ポット トマト苗 4,926ポット ブロッコリー・キャベツ苗

	116,490 ポット	73,570 ポット
花壇苗	121,961 ポット	148,105 ポット

(2) 成果

○成果

- ・暖房機により春作業の前倒しが可能となり、作業期間の拡大が図られた。
- ・土入れ機の使用により、限られた労力の作業効率が上がった。
- ・循環扇はハウス内湿度の低減による病害発生の抑制ができ、品質向上につながった。
- ・トマト苗は発注数が少なかったため計画を下回ったが、期待された数量を供給出来たことで、新たな経営品目としての目処が立った。

○プラン目標の達成状況

単位:ポット

		H22	H23	H24※	達成率
ピーマン苗	目標	50,000	50,000	50,000	92%
	実績	48,506	45,834		
トマト苗	目標	1,000	10,000	20,000	49%
	実績	1,000	4,926		
ブロッコリー・キャベツ苗	目標	124,000	120,000	120,000	61%
	実績	116,490	73,570		
花壇苗	目標	170,000	170,000	170,000	87%
	実績	121,961	148,105		

○地域への波及効果

- ・地元産の良質苗が供給出来るようになったことで、トマト栽培の安定に繋がるとの期待が高まった。
- ・中山間地での苗物生産経営改善の手法が、同地区内で新規就農した花壇苗農家の経営の参考となった。

○今後の経営の方向性

- ・さらなる安定的な苗質の維持のため、栽培管理技術の研究を行い、地元から安心して使ってもらえる野菜苗の供給を目指す。



写真 花壇苗栽培の様子

[日野総合事務所農林局]